

高森高校進路通信 - Upgrade👍9月号 -

文責 進路指導部

I. 2学期が始まって□□□

2学期が始まって、早くも1ヶ月が経とうとしています。先日の文化祭では、生徒一人ひとりが自分の役割を果たしながら協力し合い、高森高生の強みや良さが発揮され、校内には充実感と達成感が広がっていました。

3年生のみなさんの中にはすでに就職試験や自己推薦・総合型選抜の入試で本番を迎えている人もいます。緊張や不安を抱えながらも、これまで積み重ねてきた努力を発揮しようと頑張っている姿はとても頼もしく感じます。これから挑戦を迎える人も含め、一人ひとりが自分自身の進路実現に向けて最後まで力を尽くしてほしいと思います。

1・2年生のみなさんは、文化祭や日々の活動を通して、自分の得意なことや興味のあることなどについて考えるきっかけになったのではないのでしょうか。まだ進路が明確に決まっていなくても大丈夫です。部活動・探究・地域貢献活動・授業などに真剣に取り組む中で、「やりたいこと」が少しずつ見えてくると思います。

2学期は、学びも行事も充実している期間です。ここでの一つひとつの経験が、将来の進路につながっていきます。ぜひ、この高森高校で、自分自身の可能性を広げていきましょう。

II. 大学入試と就職試験について

ところで、1・2年生のみなさんは受験方法についてどのくらい知っていますか？下の表は進学における選抜方法を示したものです。この表からもわかるように、多くの本校生が総合型選抜や学校推薦型選抜を通して進学しており、先輩方が探究活動を通して培った力を活かして受験に臨んでいることがわかんと思います。

【大学入試の主な選抜方法】

選抜種別	特徴
一般選抜	・ 国語、数学、英語などの学科試験 ・ 面接や小論文が課されることもある
総合型選抜 (AO入試)	・ 進学希望先の要件を満たせば誰でも出願可能 ・ 進学希望先の求める学生像に合致していることが重要 ・ 将来の目標やビジョンが明確な人向け ・ 面接や小論文、学科試験等
学校推薦型選抜	・ 学習成績等に関する大学からの要件と学校長の推薦が必要 ・ 学習や部活動、校外活動等で優秀な成績を収めた人向け ・ 指定校推薦もあり（私立のみ）

※令和6年度は、本校生徒の約90%が総合型選抜または学校推薦型選抜を利用して進学しました。

しかしながら、総合型選抜や学校推薦型選抜といった「推薦入試」でも、面接や小論文に加えて基礎学力を問うテストを実施する大学が増えてきています。文部科学省は個別学力検査を2月より前に実施しないよう各大学に通知していますが、一方で、大学団体は総合型選抜や学校推薦型選抜において、教科科目に係る基本的な知識を問うテストの実施を認めるよう求めています。つまり、どの選抜方式を選んでも「基礎学力」は避けて通れない可能性があるということです。

次に、就職試験についてです。進学と同じように、就職にも大切なルールと評価のポイントがあります。高校新卒は、原則として学校長推薦を通じて受験することになります。

就職を希望する人にとって大切なことは、学力や学習成績だけではありません。出席状況・生活態度・礼儀や挨拶・資格取得・ボランティア参加の有無など、日ごろの学校生活全般が評価されます。さらに、面接では自分の考えをはきはきと伝える力が求められます。加えて、社会に出てからはストレスに耐え、乗り越えていく力も必要とされています。

また、高卒就職だけに限りませんが、退職理由の第1位は「職場の人間関係」とも言われています。高校時代から、多くのクラスメイトと話をしてみることが、将来の社会生活に向けた良い準備になります。いわばワクチンを打っておけば、大きな病気を防げることと同じです。

つまり、普段の学習や学校生活を大切にすることが、そのまま進学や就職の準備になります。未来の進路実現につながるよう、日々の努力を積み重ねましょう。

Ⅲ. 1年生・2年生の今～南郷学での探究活動開始！

学年の垣根を越えて、地域貢献活動を図る「南郷谷役場高森高校支所」の活動が始まりました。探究のサイクル(①課題の設定、②情報の収集、③整理・分析、④まとめ・表現)を意識し、各局で協力しながら取り組んでください。大切なことは「地域貢献」という目的を見失わないことです。活動の中で培った学びや経験を活かし、12月20日(土)開催の「第4回県立高校学びの祭典」で高森高校の魅力を発信していきましょう。

【観光局】



【総務局】



【産業局】



【振興局】



【メタバースによる情報発信】

